

## 第1回黒部市上下水道料金検討委員会 会議録

開催日時 令和元年12月24日（火曜日）午後13時30分から午後15時30分まで  
開催会場 黒部市役所201、202会議室  
出席者 委員13名（敬称略）  
古田 俊吉、大上戸 久雄、澤田 正、宮井 俊親、米屋 祐治、木島 由美子、  
中西 さゆり、細野 義隆、米陀 峰信、松平 毅、新村 恵子、橋詰 真知子、  
森家 和哉  
事務局 大野市長、島津都市建設部長、畠山都市建設部理事、川添上下水道課長、  
川見主幹、高本主幹、若松係長、林主任、寺田主事、伊東主事  
コンサル 日本水工設計㈱ 田中課長、宮崎担当課長

### 1 開会

事務局より開会宣言

### 2 委嘱状交付

市長より、黒部市上下水道料金検討委員会委員各位に委嘱書が交付された。

### 3 市長挨拶

市長から、第1回黒部市上下水道料金検討委員会開催にあたり、挨拶があった。  
(挨拶要旨)

市長： 皆様こんにちは。いよいよ今年も残すところあと1週間となりました。皆様方には年末何かとご多用の折であったかと思いますが、万難を排して第1回黒部市上下水道料金検討委員会にご出席を賜り、誠にありがとうございます。また平素は黒部市政に対しまして、多大なるご支援ご協力をいただいておりますことに対しましても改めて感謝と御礼を申し上げます。皆様方には、本委員会の委員にご就任いただきましたことに心から御礼を申し上げます。

さて、本市は名水の里くろべと称されるように、豊富な水資源を有しており、それらを享受することで、育まれてまいりましたが、水文化は黒部市の大きな特徴であり、誇るべき魅力でもあります。上下水道事業においては、この恵まれた水環境を背景として、市民の皆さまにおいしくて良質な水を送り届け、また使われた水をきれいにして自然に返すことで、自然環境の負荷を軽減するなど、生活にきわめて密接な役割を担っております。

本市では平成18年3月の市・町合併以降、上下水道料金制度の統一化や、

料金の適正化に取り組み、持続可能な上下水道事業への経営改善と安心安定な水のサービスの提供に努めてまいりました。上下水道料金については、5年を超えない範囲において検討することが望ましいとされており、平成23年と平成28年の2度にわたり、料金改定を実施しております。次の改定を令和3年度に掲げており、市民や各種団体から広くご意見を伺ったうえで、進めてまいりたいと考えております。

委員の皆様におかれましては、市民目線や、消費者の立場に立ったご意見、また地域コミュニティーや事業の安定経営の観点より、様々な角度から検討を行っていただきながら、来年の9月上旬を目途に上下水道料金の適正化、統一化の方向性について提言を取りまとめていただきたいと存じます。皆様方には、日々多忙の中たいへん難しい提言についてお取り組みをいただき、ご負担をお掛けいたしますが、本市の発展に資するために、またより良い上下水道事業を持続するために、ご尽力を賜りますよう、心からよろしくお願いを申し上げます、私のご挨拶といたします。どうぞよろしくお願ひします。

#### 4 委員紹介

事務局から委員の紹介を行い、各委員からの挨拶をいただいた。  
引き続き、事務局職員の紹介を行った。  
次に、コンサルタントの紹介をおこなった。

#### 5 黒部市上下水道料金検討委員会について

事務局から黒部市上下水道料金検討委員会設置要綱により説明

#### 6 委員長、副委員長の選出

事務局より、黒部市上下水道料金検討委員会設置要綱第4条に基づき、互選によることを説明。委員より、事務局案があればとの意見。事務局案として前回の検討委員会でも委員長を務めていただいた富山大学名誉教授の古田様に委員長を、副委員長に黒部市自治振興会連絡協議会会長の大上戸様を提案。拍手により承認される。

(正副委員長から就任の挨拶)

(市長、所要により退席)

事務局から、議事について、検討委員会設置要綱の規定により、委員長が会議の議長となり進行すること。

## 7 議事

事務局から上下水道料金等検討委員会の（１）料金検討体制、スケジュールについて説明。

（特に意見・質問等なく了承）

次に、（２）水道料金の現状について、事務局から説明。

委員長： ただいま説明のありました水道料金について、委員からご質問、ご意見などがありましたら発言をお願いします。

委員長： ただ今説明がありました料金検討体制、それからスケジュールについて各委員さんからご質問、ご意見をいただきたいと思いますが何かございませんか。特にないようですので次に移ります。

（２）水道の現状把握と財務分析について事務局からご説明をお願いいたします。説明資料が多いため、半分程度で一回説明を切って質問を受けることといたします。では、事務局お願いいたします。

事務局から資料5のうち、①料金改定の経緯、②水道事業の現状、③水道料金の現状について説明があった。

委員長： ありがとうございます。今、料金改定の経緯、水道事業の現状、水道料金の現状、①から③まで一括して説明をいただきました。これにつきましてご質問、ご意見等がございましたらお願いいたします。できるだけ少しずつ1回から2回、2回から3回と水道と下水道に分けつつやっていきまが、最終的に提言がありますので、できるだけ早い機会に皆さんの共通認識を得たいと思います。用語集も配ってありますが、結構難しい用語があります。今の説明でも口径別とかいろいろあります。これまでの量なら幾らであとは幾らとかというこういう非常に難しい。それから、水道とか簡易水道ということで多種多様な形態になっていますし、料金もいろいろ複雑となっています。そういうのを委員の皆さんには、一応、共通理解を持った上で議論してコンセンサスをできるだけ得られるような形にしたい。コンセンサスというのは市民全体がだいたいこのくらいでよろしいだろうという風な考え方・見方を持てるような状況にしていけないといけないと思います。委員は市民の皆さんに説明が必要になってくるわけでございます。そういうことで、委員もそれぞれその地区、あるいは業界の責任者でございますので、その説明も必要になってくると思います。

皆さんは各種団体を代表していらっしゃいますので、そのところにもご説

明可能なように共通の理解が必要になってくるだろうと思います。

このことから、より早い機会にいろいろ、気軽に質問、意見を出していただければありがたいと思います。積極的にお願いいたします。どうぞ。

委員： 一般家庭の平均の水道料金はいくらですか。

事務局： 一般家庭は、3人家庭であれば25 m<sup>3</sup>使用すると見ており、2,074円になります。ただし、全国比較とか県内比較のときは20 m<sup>3</sup>で比較しております。

委員： 25 m<sup>3</sup>だから、1日1 m<sup>3</sup>以下ということですか。

事務局： そうです。後ほどの資料のほうでは、13 mmの20 m<sup>3</sup>で比較してまいります。参考に、そちらは大体2人で使われて1,673円の料金となっております。今の料金は10月から消費税が上がっており、その金額となっているため、後の資料のものとは、少し違うものになっています。

委員： この16ページの右上で、民営簡易水道の構成比が26%ということですが、いくつかの民間組合がありますか。

事務局： 16ページの右上の簡易水道ということで質問されましたが、この数については届出もないので、数は把握できていません。簡易水道組合連合会は、適正な管理をするために運営されています。簡易水道連合会で把握されている組合数は21組合ということになります。

委員： 以前は、市からできるだけ市の水道組合に入るように指導していたと思いますが、現在の取り組み及び今後の見通しについて教えていただけますか。

事務局： 上水エリアについては、上水を整備するときに、そのエリアの方に水を賄えるような施設を計画的につくっていました。当時は一度に全部整備できないということで、水需要に追いつくため、各地区で、特に三日市エリアのほうでは住宅密集地ということもあり、自前でつくっていただいております。今は現在自費でされています。機会を見ながら徐々に市の水道に統合、加盟していただきたいということで、毎回いろいろな情報交換ですとか制度説明等を加盟の簡易水道組合さんにはしているところです。

委員： 例えば、配管が傷んできたとか老朽化してくるものですから、直すという

ことに金がかかるということで、市へ、市の水道に入りたいというということに対し年に何回か相談というか申し込みがありますか。

事務局 : 毎年というわけではありませんが、相談は、大体年に1回程度あります。相談については、急に来年から上水に加盟というわけにいかないのです、2～3年余裕を見ながら、もし加盟するときはどういう軒数になるか、幾らぐらいお金がかかるか、どの様に進めていくのかとかという内容になります。実際に今も窪野とか下田家野地区とか、徐々に加盟はされてきています。ただ、民営簡水道は、小さいところもあれば大きいところもあります。大規模なところだと、もう一回量水器の交換とか40年とか50年とかたっている老朽管を一斉に全部チェンジするとなると、何億円もかかる話になりますので、上水道として計画的にどういうふうに整備し、いつの時点で統合しましょうという事業計画が必要になってくると考えています。

委員 : 13ページですけど、隣の入善町とか朝日町が入っていません。これは語句の説明のところにあります上水道事業、簡易水道事業の認可を受けているものがないためですか。

事務局 : 入善町と朝日町については、上水道ではなく簡易水道だけなのでこの比較に載っておりません。簡易水道については認可を受けていますが、13ページは上水で比較しておりますので載せておりません。

委員 : 4ページですが、市は100円で作って84円で売っているのです、間違いなく赤字です。16円の赤字の状況で、その次に貯金をしたいと図々しいようなことを書いていますが、いつ頃から予定をされていますか。市では早くしたいとは思いますが、赤字体制のときに貯金というのは、また夢物語みたいな話ですけども、市の財政から一般財源が上水道にいくらの金額を払われているのか教えてください。

事務局 : 配布資料で資料7をご覧ください。この後、水道事業会計の中にて触れる部分なので説明させていただきます。

黒部市の水道事業会計と下水道事業会計の二つの会計と一般会計の関係ということで、上の文章のほうで、①水道事業、水をつくり供給する費用と収入ということで、水1 $\text{m}^3$ あたり20円を一般会計から繰り入れ、補てんしています。②下水道事業では汚水を処理する費用と収入ということで、汚水処理1 $\text{m}^3$ あたり142円を一般会計から繰り入れしています。これは、図の左側、

①水道事業（収益的収支）と書いてある部分となりますが、これは1 m<sup>3</sup>の水を供給するためにかかる費用と収入の比較をしています。下のほうにその金額のお金の積み上げがありますが、費用が105円かかっています。収入とすれば106円ありますが、その収入106円の上積みの部分、一般財源からの補てん（税金等）とありますが、こちらで20円を一般会計、いわゆる市の税金の部分と言えますが、ここから補てんにてやりくりしています。これが一般財源の補てんがないと水道事業は19円の赤字になることを示しています。一方、下水道事業では、1 m<sup>3</sup>の汚水を処理するためにかかる費用と収入の比較ということで、費用は305円かかっており、収入が309円あります。ただし、一般財源から補てん、税金等から142円をそれぞれ親のほうから補てんしてもらっています。これを全部足し合わせると、大体6億5,000万が一般財源からの補てんになります。

これは、収益的収支という部分だけであり、このほかに資本的収支というハード整備を行う部分の収支がありますが、そちらのほうでも同じく一般会計、親のほうからお金を補てんによりやりくりしているという部分があります。水道では約8,800万プラスとなり、下水で言えば、プラスでさらに3億4,500万ほど親のほうからもらってやりくりしています。一般会計のトータル208億ということになっています。水道と下水を足して11億ということになり、208億のうちの11億が親からの補てんになります。

委員長 : 水道の関係は黒字に見えても、実は一般会計からの補てんがあり黒字であり、親と子のお金のやりとりと一緒にです。子供は仕送りがあるから黒字になり、貯金していることになります。でも、親からの仕送りがあるからできたので、自活しているわけではありません。完全に独力で水道の水だけで全部賄うとなると、それには収益的収支と資本的収支がありますので、水道管敷設や水道の人件費とか両方入ってきますので、その値に区別しておかないといけません。表向きは黒字だけど予算の中身を見ると結構仕送りがあります。水道事業は体質的に赤字と言うふうに見ただければと思います。

委員 : それでは、市の水道料金というのは富山県で安いという表が今出ていますが、これは親から助成をもらっているから安いのであって、他の市町村はどれだけ助成されているか分かりますか。

事務局 : 直近の数字で一番早いもので29年の数字しかありませんが、収益的収支の営業の部分の補助金と、施設、管路を整備するための出資金という二つの側面があります。営業の部分に対する補助金では、出していないのは滑川市と

砺波市で、上水道について他 10 団体は補助金を全部出しています。

給水人口 1 人あたりで一般会計の補助金をもらっている部分を割り返すと、黒部市は 2,267 円になり、黒部よりも高いのは小矢部市で 5,716 円に相当します。小矢部は 1 億 900 万出しています。ほかの団体については給水人口で割り返すと 200 円から、それこそ 22 円とか、それぞれ実際において大きくばらついています。あと、施設整備にも整備費で資金が足りなくなる場合に、親からいただいて賄っている状態になりますが、二つ合わせますと黒部市の 29 年の場合は 1 億 4700 万出しています。

人口あたりと給水人口あたりで割り返したものはほぼ同じぐらいの順位で、黒部市は 2 番目に多くなっています。一番多いのが小矢部市です。それから、3 番目が南砺市、4 番目に高岡市、5 番目が上市町、6 番目に富山市ということになります。

委員 :     ということは、黒部名水の里となっていますが、親からの金をもらって安くいるということですね。

事務局 :     値段的に安くなっているのは繰り出しをしていただいているということになります。

委員 :     今のは収益的支出の中での、言うなれば補助金という意味ですか。

事務局 :     収益的支出の中で言うところの親からもらった部分については補助金ということですか。

委員 :     小矢部市は水道料金が 2 番目に高いのに、なぜ補助金がそんなに高いのですか。

事務局 :     県西部の小矢部市等は、地下水等、自前で水源が用意できないので、用水事業者から水を買って供給するという形となっているため水道の普及率が悪くなっていると思われます。水が高いために自分で井戸を掘る人とかそういう人が多いのでお客さんも少ないという状態です。

委員 :     その分、減価償却が減りませんか。

事務局 :     減価償却については、小矢部市まで細かく計算していません。施設は引いています、虫食い状態であり、お客さんが入っていないという状態であり、

お客が少ないから整備しないということでない。古い管もどんどん増えていくので、老朽化対策をある程度やっていると思います。

委員長 : この件につきましては、他の意見も出てきそうなので、次の議題を説明していいですか。

先ほど、会計のほうで質問をいただきましたが、時間もありますので、④水道事業会計への質問がありましたら、⑤と合わせてお願いします。④⑤の検討事項について説明をお願いいたします。

事務局から資料5のうち、④水道事業会計の現状、⑤今後の検討事項について説明があった。

委員長 : ⑤まで説明をいただきました。検討事項については当然関わっていますので、ご意見、ご質問も結構です。本来、意見交換もあればいいですが、質問でも構いません。1回目で、全体象と問題点も示されて、この関連がまだよくつかめていない方も多いと思います。それだけ複雑な話ですので、意見交換は難しいと思いますが、こういうのを話ししてみたいと思っていられる方も結構ですし、ご質問、ご意見でも結構ですので気軽に出していただければと思います。よろしくをお願いいたします。

委員 : 今まで平成23年度と平成28年度の2回の料金の改定により、4簡易水道については上水道と同じ料金に改定をされたということですが、宇奈月の簡易水道について料金を合わせられなかったというのはどういう事情があるのか。また、先ほどの説明の中で、27ページの中で、簡易水道事業についても令和2年度から公営企業会計を適用しますと書いてあって、簡易水道事業の経営状態はどういうふうになっているのか。上水道と同じように赤字体質になっているのか、その辺を教えてください。

事務局 : まず、宇奈月簡水が今も統一されてなく、料金が2種類ある状態ということについてですが、12ページのほうに過去2回料金改定したときの上げた状況が20m<sup>3</sup>を参考に載っています。実は旧宇奈月には簡水が4つあり、3つは同じ料金体系でしたが、宇奈月温泉街を中心とするエリアについては、宇奈月簡水ということで料金がもともと安い状態でした。それは前身の地区組合簡水の財産が違い、資産を持っていて安く料金を抑えて運営されていたということで簡単に統一できなかったのと、もう一つは、温泉街ということで、営業の問題もあって2種類でやっていたと思います。ただ、今後、どんな場

所にあっても同じ料金で一般家庭の方については徐々に統一していきますが、23年の改正のときは、まず、体系を整えるということで、料金体系のほうをそろえることに注視していたので、料金を全体に上げることは考えていません。28年には、いよいよ収入が足りないということから、収入構造を治すことを目的に改定しました。宇奈月以外は、上水道の上昇と同額だけ改定した結果、4簡水は44%アップになりました。一方で、宇奈月簡水も上げなければならないということで、上昇率を算定した結果、59%の上げ率ということになり、一気に上げるのは難しいということになり4簡水と同額アップとし、2つの体系が残っている状態になっています。これが、今回上げれば適切なのか、それとも、そこをそろえるよりはとにかく収入構造を良くするのが先かということについては、皆さんのご意見を伺って進んでいく必要があると思っています。

それともう1つ簡易水道事業について、黒部市の今現在、5簡水ということで合わせて特別会計で運営しております。事業自体は企業会計と違うので収益的収支とか資本的収支というふうには分けられませんが、企業会計に仮定して仕分けした結果、簡水については30年度を見ると、支出が6,200万ほどの事業があります。これについて料金収入は9,000万程ありますので、料金で賄えています。一方、施設整備が必ず伴い、水源を直す、管路を直す、ポンプを直すとかいろんな整備が入ってきますので、資本的支出というところに全部重ねたと想定して、事業費については1億2,900万ほどかかっています。結局、ハードも合わせていくと赤字ということで、803万程度の繰入金をいただいているという状態となっています。コンパクトに水源と管路がある分だけ、少し上水よりは経営状態がいいかと思います。

委員： 本日、事前に質問させていただきましたところ、本日の追加資料にありますように分かりやすくまとめてくださってありがとうございました。私自身の話になりますが、私は県外から移住して5年目になります。きっかけは、子どもたちを自然豊かな環境で育てたいという思いで選んで来ましたが、黒部市を選んだ理由の1つに水が豊かであるということがあります。私はこれまで転勤も含めていろんな場所で暮らしてきましたが、それらのどの地域の水道水と比べても、黒部市ではカルキ臭がしませんし、また、市の原水が地下水であることですか、清水（しょうず）ですとか、そういった豊かな水というところが黒部の魅力であり、名水の里黒部にふさわしい水道だと思っています。私は黒部に移住してきて初めて清水（しょうず）も見ましたし、自家井戸というものも初めてこちらで見ました。自家井戸について質問させていただきます。黒部は山から海までさまざまなエリアがありますが、どの

エリアで掘っても出てくるものですか。

事務局 : 井戸については、やはり地形的な地理的条件があり、地盤がどのような状態になっているのかにも影響を受けます。海に近いところとか、川に近いところ、そういったところでは比較的出やすいのかなとは思いますが。やはり、山あいのところとか、山間部といったところで出にくいところもあると思います。地下水については地形的、地質的な条件の影響が出やすいので、実際に掘ってみないと分からないところもあるかと思えます。

事務局 : 簡水水道も水源がほぼ深井戸が中心であり、一部、湧水がありますけれども、黒部市についての水源はほぼ地下水です。

委員 : 町内などであるような共有井戸というのは自家井戸扱いなのか、簡易水道扱いなのか。

事務局 : 市営については上水道と、5箇所の簡易水道となっています。残りの水道施設、飲料水施設については、全て民間のものであり、個人、学校、アパート、共同の住宅内で使っています。

委員長 : かなり今日、ご意見を出していただきました。皆さんには共通の認識、関心、知識があるような気がしました。事前にご質問をいただいている委員さんもありますが、今日、ご意見、ご発言いただかなかった委員の皆さんは、この封筒に意見を書いた用紙を出していただければと思います。できるだけ共通の認識を持って、全市に関わることとなります。簡易、上水道、それから下水道と、全市全域にわたることなので、委員にも広く知っていただく必要があるかと思えます。意見、質問を事務局のほうに出していただくということでもよろしくお願ひします。今日は、まだ少し意見交換までにはいかないみたいですが、この下水道と水道は密接に関わっておりますから、今後、場合分けはあっても意見交換というのはあり得ると思えますので、まずご質問、ご意見をお願いします。

本日のことに関してですが、意見用紙でも構いませんので、この内容について説明をお願いしまとか記入していただき、次回までに説明のほうをよろしくお願ひします。今日のこのお話の中で今後の進め方等についてご意見等がありましたらよろしくお願ひします。その意見をまとめ、市で整理し、今後の進め方、説明資料等に活かしたいと考えていますのでよろしくお願ひします。

それでは、事務局からその他で連絡がありましたらお願ひします。

事務局 : その他につきましては、上下水道料金検討委員会の第2回および第3回の開催にかかる日程調整についての事務連絡です。

先ほどの資料2でも料金検討のスケジュールで示しましたが、第2回の委員会については来年、令和2年2月に、そして、第3回の委員会につきましては3月中に開催したいと考えています。委員の皆さまには、時節柄お忙しいと思いますが、事前に日程調整をさせていただきたく、お席にお配りしておりますアンケート用紙に、お手数ですが、ご都合の悪い日に×を記入いただきまして、把握されている範囲で結構です、ご都合の悪い日に×をご記入をお願いします。年明け1月10日ぐらいまでに返信封筒またはFAXでも結構ですので、ご返信をお願いします。開催予定日につきましては、後日、事務局にて取りまとめの上、改めて皆さんにお知らせさせていただきたいと思っております。また、2回目の委員会のメインテーマは下水道事業になります。こちらの説明資料につきましては、会議の1週間前を目途に郵送させていただきます。

最後に、本日皆さまにご審議いただきました内容についての会議録ですが、市のホームページにて掲載を考えております。その際、どなたが発言いただいたかの名前は伏せた形で掲載させていただきますので、ご了承ください。その他のご説明については以上です。

委員長 : 事務局からの説明について、これに関する質問はありますか。無い様ですので、本日予定の日程は滞りなく終了したと思います。これにて第1回黒部市上下水道料金検討委員会を閉じさせていただきます。次回以降もまたよろしく申し上げます。皆様ご苦勞様でした。ありがとうございました。